

令和6年度事業計画に基づく取組実績

| | | | |
|--------|----|----|----------------|
| 法人整理番号 | 21 | 名称 | 公益財団法人埼玉県下水道公社 |
|--------|----|----|----------------|

1 経常利益の対前年度増の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

(千円)

| 目標の概要 | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | R7 |
|--|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------|------------|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 計画 | 実績 | 前年度増減額 | 計画 |
| 運転の工夫等によるコスト削減（令和3年度比）3,000万円以上 【※令和6年度新規分】 （※当公社は収益事業を実施しておらず、公益事業の財源の県委託料は年度末でゼロ精算している。そのため中期経営計画の経営指標を数値目標とした。） | 経常収益 | 20,825,438 | 20,979,344 | 24,849,472 | 23,404,846 | 25,842,524 | 23,906,619 | 501,773 | 27,236,425 |
| | 経常費用 | 20,821,370 | 20,974,430 | 24,852,749 | 23,408,149 | 25,842,524 | 23,904,753 | 496,604 | 27,236,425 |
| | 経常利益 | 4,068 | 4,914 | -3,277 | -3,303 | 0 | 1,866 | 5,169 | 0 |

| 取組項目 | 具体的取組内容 | 収支 | | | |
|-------------|---|----|------------|-----------|------------|
| 電気料・薬品費等の削減 | ・汚泥焼却炉のバイナリー発電機導入（荒川水循環センター） ・超微細散気装置導入（荒川水循環センター） ・汚泥消化促進に用いるポリ硫酸化第二鉄の使用量削減（中川水循環センター） ・照明器具のLED化（各水循環センター） | | 計画 | 実績 | 計画との乖離 |
| | | 収益 | 10,933,560 | 8,447,684 | -2,485,876 |
| | | 費用 | 10,933,560 | 8,447,684 | -2,485,876 |
| | | 利益 | 0 | 0 | 0 |
| 取組項目 | 具体的取組内容 | 収支 | | | |
| | | | 計画 | 実績 | 計画との乖離 |
| | | 収益 | | | 0 |
| | | 費用 | | | 0 |
| | | 利益 | 0 | 0 | 0 |
| 取組項目 | 具体的取組内容 | 収支 | | | |
| | | | 計画 | 実績 | 計画との乖離 |
| | | 収益 | | | 0 |
| | | 費用 | | | 0 |
| | | 利益 | 0 | 0 | 0 |

| 法人による自己評価 |
|---|
| 当公社は収益事業を実施しておらず、公益事業の財源の県委託料は年度末でゼロ精算しているため、決算上はコスト削減額が見えない。 一方で、中期経営計画の経営指標として「運転の工夫等によるコスト削減（令和3年度比）」の数値目標を設定しており、令和6年度の実績は3億2,153万円の削減であり、目標の1億2,000万円を達成した。このうち令和6年度の新規取組に係る削減額（令和6年度新規分）は省エネ機器の導入のほか、効率的な運転による電気料・薬品費等の削減により1億3,741万円と、目標の「3,000万円以上」を大幅に上回った。 |

2 DXの推進等による生産性向上や経営効率化、サービス向上の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

| 目標の概要 |
|---------------------------------|
| ・ペーパーレス化等を推進し、事務的経費(コスト)700万円削減 |

目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

| 取組項目 | 具体的取組内容 | 取組による効果 | |
|-----------|--|--|--|
| | | 目標 | 実績 |
| 電子契約の導入 | ・電子契約を導入し、修繕・工事契約に伴う印紙代や契約書作成・送付等に係るコスト削減と事務の効率化を図る。 (印紙代400万円、契約書押印80人×1.5h×3,300円=39.6万円) | 印紙代400万円削減 押印に伴う時給相当額 39.6万円 | 印紙代 551万円 (306件) 押印に伴う時給相当額 151.4万円 |
| 取組項目 | 具体的取組内容 | 取組による効果 | |
| | | 目標 | 実績 |
| コピー使用量の削減 | ・Zoom、Teams、Box、Line等を徹底的に活用し、コピー使用量を令和4年度比15%削減する。(17.6万枚×1.9円=33.4万円) | ・コピー使用料33.4万円削減 (コピー使用量令和4年度比15%削減) | コピー使用料85万円削減 (令和4年度比 34.4%削減) |
| 取組項目 | 具体的取組内容 | 取組による効果 | |
| | | 目標 | 実績 |
| WEB会議等の活用 | ・WEB会議を活用し、対面会議ならば必要となる移動時間を節約する。 (延360人×1.5h×3,300円=178.2万円) ・Zoom、Teams、Box、Line等を徹底的に活用して、報告や事務手続に伴う移動時間を節約する。(延96人×1.5h×3,300円=47.5万円) | ・移動時間有効活用の時給相当額 225.7万円 | 265万円 |

| 法人による自己評価 |
|---|
| <p>「電子契約の導入」による印紙代の削減や事務の効率化により、導入前と比較しコスト削減を行うことができた。</p> <p>また、「コピー使用量の削減」についても、Zoom・Teams・Box・Docuworks等のデジタルツールを徹底的に活用し、目標を上回る削減を達成できた。</p> <p>さらに、「WEB会議等の活用」についても、Teams等によるWEB会議の活用により、移動時間の節約等のコスト削減を着実に実施したと評価している。</p> |